

整形外科専門医研修プログラム (聖隷三方原病院)

1 はじめに

浜松市及び周囲医療圏でセンターとしての役割を担う聖隷三方原病院は、ドクターヘリを有する高度救命施設でもあり、様々な外傷やその他疾患が搬送されて来ます。整形外科はそれらに対応する一方、ロボティクスを用いた人工関節手術や肩・膝のスポーツ外傷、脊椎疾患、手外科疾患などの分野でエキスパートによる診療を行なっています。

聖隷三方原病院整形外科専門研修プログラムは、専攻医の皆様に素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を目指します。



プログラム統括責任者 聖隷三方原病院 整形外科部長 富永 亨

2 目的

- 1) あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師であること
- 2) 整形外科専門医は、生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する運動器疾患と障害の発生予防と診療に関する能力を備え、社会が求める最新の医療を提供し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献すること
- 3) 整形外科専門医は、運動器疾患全般に関して、早期診断、保存的および手術的治療ならびにリハビリテーション治療などを実行できる能力を備え、運動器疾患に関する良質かつ安全で心のこもった偏りのない医療を提供すること

また、このプログラムでは、京都大学医学部附属病院と連携しながら、地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅広い視野をもった整形外科医を育てることを目標とします。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

聖隷三方原病院

京都大学医学部附属病院 (I型基幹施設)

(2) 専門研修連携施設

静岡県立総合病院、浜松労災病院、島田市立総合医療センター

滋賀県立総合病院 (小児整形あり)、静岡県立がんセンター

新百合ヶ丘病院外傷センター

4 専攻医受入数

5名

5 研修期間

4年

6 研修計画（例）

整形外科の研修で経験すべき疾患・病態は、骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの運動器官を形成するすべての組織の疾病・外傷・加齢変性です。また新生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層が対象となり、その内容は多様です。この多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得し、4年間で48単位を修得する修練プロセスで研修します。

ローテーション例

1 = 次	2 = 次	3 = 次		4 = 次	
当院	当院	大学	連携施設 A		当院
当院	当院	大学	連携 A	連携 B	当院
当院	当院	大学	連携施設 A		連携施設 B 当院

7 問い合わせ先

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町 3453

総合病院 聖隷三方原病院

TEL : (053)439-1381

FAX : (053)439-1382

担当 : 臨床研修センター 安間、浅野

メールアドレス : mk-kensyu@sis.seirei.or.jp